

## 事業者向け 児童発達支援自己評価

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	ご意見
環境 体制 整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	4	2		十分なスペースと支援ごとのスペースの使い方の工夫をしている。 利用児童人数により狭く感じる時もある。
	②	職員の配置数は適切であるか	4	2		送迎に出る時でも指導訓練室に常時2人以上の職員配置をしている。
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	5	1		トイレ等すべての室内がバリアフリーになっている。
業務 改善	④	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	5	1		個別支援・課題への取り組み方法を職員間で共有している。
	⑤	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	6			より多くの意見を吸い上げ、より良い支援のために業務改善を行っている。 保護者のニーズを把握し改善しているところもある。
	⑥	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	6			評価の結果を踏まえ日々の活動の様子をホームページで公開している。
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	1	1	4	第三者委員の評価を聞く機会を設けている。
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	4	2		感染予防や災害時の対応また個別支援の課題活動をしている。
適切 な 支 援 の	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	6			中間評価を通して積極的に保護者と面談し支援計画の作成をしている。
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	6			行動分析をして、適宜対応している。
	⑪	児童発達支援計画書には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	6			支援計画に具体的な項目を設定して順次対応している。

提 供	⑫	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	6			
	⑬	活動プログラムの立案をチームで行っているか	5	1		月間で活動プログラムや個別で取り組む課題をチームで話し合っている。
	⑭	活動プログラムが固定化しないように工夫しているか	6			季節に応じた活動や個別課題を見直した取り組みになっている。
	⑮	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成しているか	6			状況に応じた取り組みになっていて、活動内容を踏まえた計画になっている。
	⑯	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	3	3		個々のお子様の利用日の前日に、個別活動の準備と集団活動の役割分担を職員間で話し合っている。また、当日の再確認を行っている。
	⑰	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	3	3		支援記録への記録の際に日々のノートや職員間の話し合いで支援の振り返りを行っている。
	⑱	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	6			日々のノートや支援記録を参考にして支援への検証・改善につなげている。
	⑲	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	6			中間評価等を行い保護者に説明した上で支援計画の見直しをしている。
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携 関 係 機 関 や 保 護 者 と の	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	6			常に児童発達支援管理責任者が参画している。
	㉑	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	6			保健センター等からの連絡に即時対応している。
	㉒	医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等の在宅支援のために、地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか				当施設は、重症心身障害施設以外のため該当しない。
	㉓	医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか				当施設は、重症心身障害施設以外のため該当しない。
	㉔	保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校（幼稚部）等との間で、移行に向けた支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	6			日々の活動内容の記録を、こども園等の先生にお渡しして支援内容の共有を行い移行に向けた取り組みをしている。

連携	②⑤	小学校や特別支援学校（小学部）との間で、移行に向けた支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	2	3	1	支援学校での情報が少ない。
	②⑥	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	4	2		専門機関との連携を取っているが研修等コロナの為、参加を控えている。オンライン研修を受けている。
	②⑦	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	3	2	1	コロナの為、交流は控えている。こども園の先生に当施設に来て頂いて、実際の支援の様子を見て意見交換をする機会があった。
	②⑧	（自立支援）協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか	2	3	1	
	②⑨	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	6			日々の連絡ノートや中間評価を通して相互理解を深めている。
	③⑩	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）の支援を行っているか	4		2	身辺自立（トイレトレーニング・スプーンの持ち方等）に向けたアドバイスをしている。
保護者への説明責任等	③⑪	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	6			
	③⑫	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	6			支援の様子を伝え中間評価で意見交換をした上で今後の個別支援への説明を行い児童発達支援計画の同意を得ている。
	③⑬	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	6			
	③⑭	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	1	1	4	コロナの為、控えているが今後保護者同士が関われる場を設けていきたい。
	③⑮	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	6			

	③⑥	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	3	1	2	夏休み期間等の行事予定を発信している。
	③⑦	個人情報の取扱いに十分注意しているか	6			
	③⑧	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	6			
	③⑨	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	1	3	2	
非常時等の対応	④⑩	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	6			
	④⑪	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	4	2		
	④⑫	事前に、予防接種やてんかん発作等のこどもの状況を確認しているか	6			
	④⑬	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	4	2		食物アレルギーの児童がいない。 食物アレルギーに関する同意書を契約時に提出して頂いてる。
	④⑭	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	4	2		ヒヤリハット報告書を作成して共有している。
	④⑮	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	2	1	3	今後研修機会を設けていきたい。 スタッフ間で直接対応出来ている。
	④⑯	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか	2		4	身体拘束が必要な児童がいない。